The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	談話28の両側不変測度に就て
Author(s)	後藤, 守邦
Citation	全国紙上数学談話会. 1947, 2(4), p. 63-64
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75168
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

33. 談話28の両側不変測度に就て

（名大）　後藤守邦

談話28の中で両側不変 Haar 測度に就き全生君が疑問にされてなることは何れも極く容易へ反例があがる様に思ひますので一寸御注意申上げます。

Gの Haar 測度が両側不変ならば、Gの如何なる閉部分群も両側不変測度を有する？」

2次元の実行列全体の作る群には両側不変測度が入るが、$\begin{pmatrix} a & b \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$

なる形の行列全体の作る部分群には入りません。

「Gが両側不変測度を有つ時適當な完閉不変部分群Nで割ればG/Nに両側不変距離が入る？」

連結で両側不変距離を有つ群は *Freudenthal* が結果により *maximally almost periodic* ですから一連結で両側不変測度を有ち *minimally almost periodic* な群は明に反例を与へます。例へば n次元 *unimodular group*.

「Gが両側不変測度を有てばG/Nも同じ性質を有つ？」

三次元可解 *Lie* 群で簡單に反例が出来ます。たとへNが可換な不変部分群でも駄目です。

尚文中に私の名前が出て来ますが　私は *Lie* 群だけでやつたわけではなく（*Lie* 群では勿論解り切つてゐることでせうが：昨夏壬生君の結果の一部を全然別な方法で思ひつくまゝに「数学」（多分第一号？）に報告致しておきましたのを壬生君が思ひ違へされたのかと思ひます。第三番目の反例も確かその中に書いておいたと思ひます。

終に臨んで遙か日本の南の端に静に病を養はれる壬生君の再起の早からんことを切に祈つてやみません。　(1947. 3. 10)